

価格、費用、収益に着目した社会科産業学習

—小学校第5学年農業、水産業、自動車工業の学習を事例として—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（社会）

本研究の目的は、経済的な見方である「価格、費用、収益」に着目し、小学校第5学年の社会科産業学習の実践を通して、児童が「価格、費用、収益の理解をどのように獲得するのか」、「理解したことをどのように働かせるのか」を明らかにすることである。そのために、「米づくりのさかんな地いき」、「水産業のさかんな地いき」、「自動車をつくる工業」において実践し、児童が学習の振り返りの際に記述した内容をもとに、価格、費用、収益に対する理解の変容とその深まりを分析した。

本研究を通して、費用の理解が最も獲得しやすく、費用について理解したことを働かせることにより、価格や収益の理解も獲得できることを明らかにした。また、価格や収益の理解が深まることで、費用との新たな関連性を見いだすことができ、費用の理解をさらに深めることも明らかにした。一方、価格、費用、収益の理解をさらに深め、中学校の公民的分野の連続性を実現するために、学習展開と学習方法の改善が課題として見いだされた。